

平成29年度第1回 箱根町行財政運営を考える町民会議 観光グループ 結果概要

日 時：平成29年5月19日（金曜日）16:00～16:55

場 所：箱根町役場本庁舎4階 第1委員会室

参加者：【箱根町行財政運営を考える町民会議】

〔委員〕

内田良雄委員、勝俣賀寿代委員、倉田義巳委員、高橋 始委員、鈴木茂男委員
勝俣昭彦委員、中里健次委員、澤村吉之委員、杉山慎吾委員

〔ファシリテーター・アドバイザー〕

田中 啓教授、高井 正教授

〔町〕

村山企画課長、杉本税務課長、伊藤企画課副課長

1 今後の議論の方向性（まとめ）

観光分野による好循環サイクルの創出に向け、何をしなければならないのか。

沢山の観光客が来る ⇒ 観光産業活性化
⇒ 資産価値UP ⇒ 固定資産税収UP
⇒ 町の活性化



この好循環を生み出せる
ようにアイデアを出す。

2 意見交換の概要

(1) 箱根町観光協会のまとめた5つの課題を共有

- ・箱根町観光協会と町の連動性が弱い
- ・メディアリレーション
- ・インバウンド対応の窓口がない
- ・各地域間の連携
- ・マーケティング機能の欠如

(2) 意見交換で出された主な意見

①各地域間の連携について

- ・各地区の観光協会では、イベントに追われてしまい町全体のことを考える時間がない。

②観光客数について

- ・町全体を考えると現状で目いっぱいではないか。
- ・ゴールデンウィークのお客様の状況を見ると、これ以上は厳しいと思う。
- ・交通渋滞を何とか解消できないか。
- ・環境省の規制を緩和しないとこれ以上の受入れは厳しい。
- ・交通2社で連携してもらいたい。周遊きっぷなど、特に外国人には分かりにくい。
- ・仙石原では開発が相次いでいる。ただし、既存のものを活用している方式。
- ・道路を広げるなど抜本的な対策を考えないと難しい。町には国・県に対して積極的に働きかけてもらいたい。
- ・外国人観光客について国は目標を掲げているが、現状を考えるとその受入れができるかどうか。

③外部からの新規投資について地域として受け入れられるか。

- ・仙石原ぜひ来てもらいたい。そういうことがないと、不動産の動きが出ない。
- ・今まで箱根は比較的そういう動きに対して歓迎はしていなかったところがある。
- ・強羅は保養所の再利用など、動きが活発である。
- ・各地区、業種で考え方は異なるであろう。

④町への意見

- ・我々事業者のやれること、行政にやってもらいたいことを整理する必要がある。
- ・入湯税の代わりに町で宿泊税を導入することを提案したい。民泊や事業所ごみ有料化の実態を見ると、不公平感がある。
- ・小田急が仙石原にバスターミナルを計画している。町は小田急に依存している状況。何も考えを出さない。町は観光に積極的に取り組んでももらいたい。

